

8 月 22 日 : VN 指数は午後に反発 (VN-Index +0.06%)

- VN 指数は不安定な動きとなっており、前日終値付近で取引を開始した。
- その後、不動産、素材セクターを中心に売り圧力が強まり、売りが相場全体へと広がっていった。
- 午後に入ると、再び押し目買いが入るようになり、指数は反発した。午前中の薄商いから一転して、キャッシュフロー流入が見られた。
- 前日終値付近で売りが入る場面も見られたが、最終的にはわずかな上昇で取引を終えた。
- 220 銘柄が上昇、250 銘柄が下落、51 銘柄は変わらずと売り優勢だったが、下落銘柄数は縮小した。
- 流動性は前日比でわずかに低下し、売買代金は 21.7 兆ドンだった。

VN30 指数も同様の動き (VN30 +0.27%)

- 大型株で構成する VN30 指数は 15 銘柄が上昇、14 銘柄は下落した。1 銘柄は変わらずだった。
- 上昇をしたのは、SSB (+6.0%)、SSI (+6.4%)、MWG (+2.0%) などが挙げられる。
- 一方、VIC (-2.0%)、VCB (-1.6%)、SAB (-1.8%) などは大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- SSI (+6.4%)、VND (+2.7%)、HCM (+2.5%)、VCI (+5.2%) といった証券株は相場をけん引。新しい証券取引システムである KRX システムが 2023 年内の稼働を期待されていることが材料視された。
- KBC (+4.7%) は監査後の利益が上振れしたことが好感された。同社の上半期の税引き前利益は 2.34 兆ドンから 2.6 兆ドンに修正された。

- 外国人投資家はホーチミン市場で 7,266 億ドンの大幅な売り越しだった。中でも HPG と STB に売りが集まった。買い越しでは特に目立った銘柄はなかった。
-

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。